

名前：

インターネットの時代に入ってから、人の生活がどんどん便利になりました。人との連絡や買い物などしたい時、出かけなくてもいいということです。ほかに新聞や雑誌の内容もインターネットにのっているので、さいに買う必要もなくなると言われているそうです。でも、私にと、て、やっぱりなにかを手に握りながら読むのがいいです。

インターネットで資料を調べるとか、新聞を読むとかは便利だといえども、パソコンの前に長く座ったら疲れられます。目に悪いし、すこし運動しないと肩がこります。とくに現在パソコンは普及していて、気がつかないうちに一日中パソコンとインターネットばかり使っているのは体によくありません。

それに、今本や雑誌を読んでいる時、紙をさわる感じはもう慣れていきます。ですから、インターネットで文章を読んでいる、かたくてつめたい感じがします。そうしたら、楽しみもなかなか出てこないなので、すぐやめるよ

うになります。環境のために、インターネットを使えば紙の使用量もへるので、もう新聞や雑誌はいらないと、ある人はそう言うかもしれませんがありません。しかし、インターネットはいくら便利になっても、紙で作る本はかならず自身の価値があると思っています。

祖父から残った本は今ちゃんと本棚に並んでいます。カバーは古くて破れていても、毎度それを見ると、祖父のことを思い出します。それはたぶんパソコンが代わることはできないと思います。